



和敬塾メールマガジン第21号



2022年12月12日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第21号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

第67回和敬塾予餞会が盛大に開催されました！

12/11（日）、第67回和敬塾予餞会が盛大に開催され、プログラムは以下の内容でした。

第67回 予餞会 プログラム

令和4年12月11日（日）

式典（大講堂）

10:00	開会の辞	司会：北寮3年 笹谷幹
	理事長挨拶	：前川 正 理事長
10:15	送辞 在塾生代表	：北寮3年 川崎 優誠
10:20	答辞 各寮卒塾生：	
	東寮：常見 周平	西寮：永瀬 開道
	新南寮：辻本 健治	北寮：土屋 幾太郎
10:30	来賓祝辞 墓友会	：永井 達也 会長
10:40	記念品贈呈	北寮4年 手嶋 啓人／佐藤専務理事
10:45	講演講師紹介 司会	：笹谷幹
10:50	記念講演	リュックス・アドバイザリー・ジャパン株式会社 代表取締役 遺田 重彦（やりた しげひこ）先生（S45 北） 演題 『グローバル化時代に巣立つ塾生に語る ～日・米・仏企業での経験を振り返って～』
11:50	塾歌静聴	
11:55	閉会の辞	司会：北寮3年 笹谷幹

記念撮影（大講堂）

12:00 記念撮影 卒塾生全体集合写真、各寮写真



挨拶する前川正理事長



在塾生代表挨拶の川崎優誠君



4寮代表の卒塾生



来賓挨拶：永井塾友会会長

最初に登壇した前川正理事長は理事長に就任して最初の大役ということで、若干の緊張は見られたものの、日常の塾生との対話経験を活かし、無難に卒塾生へエールを送っていました。

次に在塾生代表として送辞に登壇した北寮の川崎君はお世話になった先輩に感謝の思いを伝え、答辭に立った4寮代表の卒塾生からはこれまでとは一味違ったメッセージが後輩に送られました。というのも、今回の卒塾生は2019年に入塾した50名で、コロナ前とコロナ後を知る貴重な体験をしたメンバーです。

「自分達が入塾した時は普通の和敬塾の生活をエンジョイし、騎馬戦も山ハイも経験できたが、コロナが始まってからは全く違う世界を体験した。」、「コロナ前を知らない後輩の皆さんには、昔に帰るのでなく、前を向いて新しい和敬塾を創造してほしい。」

来賓として挨拶された塾友会の永井会長からは、「皆さんは思い出多き4年間を過ごされたと思いますが、これからが和敬塾生の本当の醍醐味を味わえる時です。」として、今後の塾友会での活躍に期待を寄せられました。

和敬塾シンボルマーク入りのネクタイが卒塾記念品として贈呈された後、次は恒例の記念講演です。

今年は、塾友（S45 北）の遣田重彦氏に、「グローバル化時代に巣立つ塾生に語る～日・米・仏企業での経験を振り返って～」と題する講演をして戴きました。

遣田氏は日本やアメリカの企業を経験された後、フランス系のLVMH モエヘネシー・ルイヴィトン・ジャパン株式会社で人事部門を長く担当され、その経験に基づく熱きメッセージを戴きました。

卒塾生や塾生の将来の参考にしてほしいと、日本企業と外資系企業の経営に対する考え方の違いを話された後、「相手を理解し敬う気持ちを大事にする点はどちらも同じである。」とし、「和敬塾で培った精神は社会で有効に活かされる。」との話が印象的でした。また、自身の経験を基に、日本企業であれ、外資系企業であれ、英語力は不可欠である点を強調されていました。

1時間を超える講演の締めくくりは以下のメッセージでした。

- ① エンプロイアビリティ（雇用され得る能力）を持つ！
- ② イノベーティブかつクリエイティブであれ！
- ③ 背骨を持て！（譲れない自分の考え方を持て！）
- ④ 和敬塾で出会った友人を大切に！



遣田重彦氏(塾友)の記念講演



にこやかに話をされる遣田重彦氏

<遣田重彦氏 御略歴>

- 1970年:早稲田大学商学部 卒業
和敬塾 卒塾
日本軽金属株式会社 入社
- 1977年～1978年:同社海外留学制度
にて米国南カリフォルニア大学
経営大学院(MBA)に留学
- 1985年:日本軽金属株式会社 退職
日本コンピュータービジョン
(株)人事本部長就任
- 1993年:日本コンピュータービジョン
(株) 退職
LVMH モエヘネシー・ルイヴィ
トン・ジャパン(株)
Vice President Human
Resources 就任
- 2011年:同社 取締役 就任
- 2012年:仏国国家功労勲章シュヴァリエ
受勳
- 2013年:同社 退職
リュックス・アドバイザリー・ジ
ャパン株式会社 設立
同社 代表取締役 就任



記念写真に納まる卒塾生と寮長・役職員

<文責：佐藤一義（和敬塾専務理事）>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第22号

2022年12月22日 和敬塾事務局



和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第22号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

この1年、ご愛読ありがとうございました！

和敬塾メールマガジンは今年の2月1日に第1号を発刊し、今回で第22号となりました。今号は特別号として、和敬塾の四季を写真で振り返るとともに、バックナンバーリストを紹介させて戴きます。



*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>

<バックナンバーリスト>

以下をクリックすると各号が閲覧できます。

なお、メールマガジン発行時点での情報のため、現在ではリンク切れ等になっている場合があります。あしからずご了承ください。

[和敬塾メールマガジン 01](#)

[和敬塾メールマガジン 02](#)

[和敬塾メールマガジン 03](#)

[和敬塾メールマガジン 04](#)

[和敬塾メールマガジン 05](#)

[和敬塾メールマガジン 06](#)

[和敬塾メールマガジン 07](#)

[和敬塾メールマガジン 08](#)

[和敬塾メールマガジン 09](#)

[和敬塾メールマガジン 10](#)

[和敬塾メールマガジン 11](#)

[和敬塾メールマガジン 12](#)

[和敬塾メールマガジン 13](#)

[和敬塾メールマガジン 14](#)

[和敬塾メールマガジン 15](#)

[和敬塾メールマガジン 16](#)

[和敬塾メールマガジン 17](#)

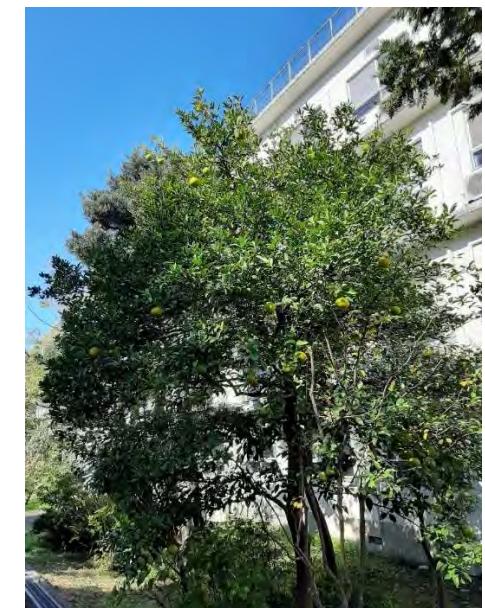
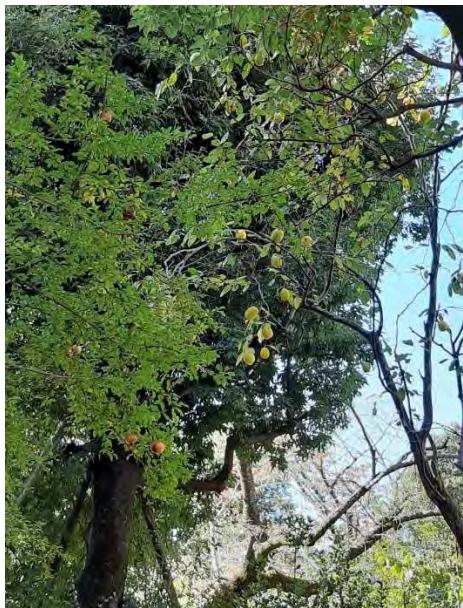
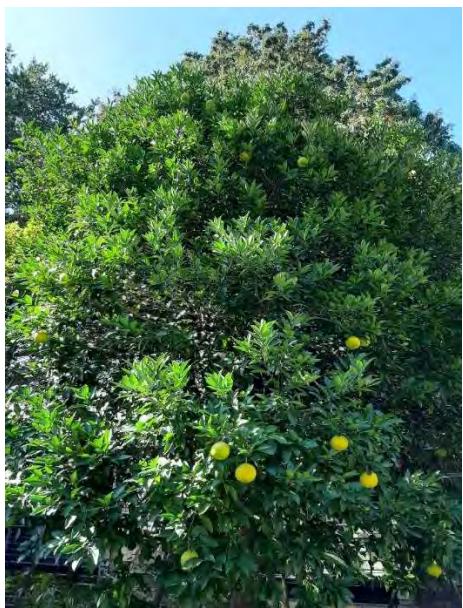
[和敬塾メールマガジン 18](#)

[和敬塾メールマガジン 19](#)

[和敬塾メールマガジン 20](#)

[和敬塾メールマガジン 21](#)

<果実いっぱいの和敬塾:夏ミカン、カリン、ザクロ、謎の果実…>



今日は冬至です。関東では柚子湯に入る慣わしがあります。和敬塾にも柚子の木が数本あるのですが、残念ながらまだ実はなっていません！「桃栗三年柿八年、柚子の大馬鹿十八年」と言います。施設グループの担当者によれば、「今しばらくお待ちください！」とのこと。代わりに、たわわに実る塾内の果実を写真で紹介します！



和敬塾メールマガジン第23号

2023年2月4日 和敬塾事務局



和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第23号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますのでご了承下さい。

和敬塾の各寮の紹介が YouTube で見られます！

和敬塾の東・西・新南・北寮の各寮を知っていただきたく、在寮生が自寮について語ってくれました。第一弾として、西寮のご紹介をいたします。(暫時、他寮も紹介して参ります。)

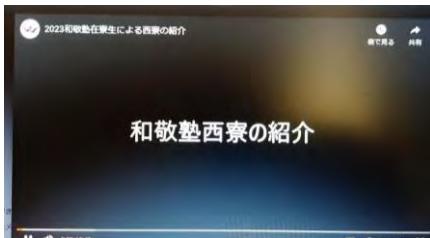
<https://www.youtube.com/watch?v=HD-54Be3V-4>



和敬塾 youtube 西寮紹介ビデオ

和敬塾の youtube ページはこちります。

<https://www.youtube.com/user/wakeijukuthemovie/>



忠犬ハチ公の生誕百年記事で、前川正雄塾長ご夫妻 新聞各紙に掲載

渋谷駅前の忠犬ハチ公が本年11月に生誕百年を迎えるということで、愛犬ハチ子(秋田犬)と共に前川正雄塾長ご夫妻が新聞各紙に掲載されました。東京新聞では1/13付の夕刊、その他産経新聞夕刊(大阪版12/30付)や中部経済新聞(1/9付)、日経新聞夕刊(1/5付)等にも掲載されました。

来年生誕100年 渋谷区などがプロジェクト



ハチ公像と一緒に写真に納まる米国からの観光客
=14日、渋谷区

鋼管のモチーフになるね」と、国内外で多くの「田代アート」が誕生。その年に、秋田の「田代アート」が、世界中の光交響施設「秋田大

市へん」をモチーフ「モーターハンマー」は、
「ハンマーの音が机の上に響く」という
言やかな錆感風に包まれた。
大正12年（1923）に生れたハチ公は、
住む新居三郎、東洋美術
教諭として就職した。教諭は、
花谷駒輔として活動。
教授の急務は、日本洋画の
開拓だった。しかし、その間、
知られる「ハチ公」は昭和
10年（1935）に、犬種として
幼少時に花谷駒輔によって
前に正確さで有名な「日本
に連れられた日々」實に驚く
た。

忠犬ハチ公がつなぐ縁



ハチ公を実際に目にしたことがあるという前川正雄さん（左）。中央は秋田犬の「ハチ子」 =10月、都内

ハチ公 つなぐ物語



④ハチ公像と猪の鼻真に説いた米澤から
の報文を、昨年12月、東京駅構内に
て



銅像が作られ、海外でも映画のモチーフになるなど、国内外で人気の「忠犬ハチ公」が11月に誕生100年を迎える。ハチ公が育った東京都品川区と、生まれ故郷の秋田県大館市の両自治体はプロジェクトを展開。1匹の忠犬の存在が時代を超えて、人や地域をつないでいる。

「一九三五年に生まれて、西宮市住んでは生後五十日にして西宮市上野英二郎・東京大教授と引き取られた。教授は浜谷駅まで運び、送り迎えし。以後も車で運んでいた逸話で知られる。ハチ公は三年三月に一生を終えた。

幼少時に浜谷市に住んでいた川正謙さんによると、「母は連れられ駅の方面へ行った時にハチ公を見たのに驚いています」と振り返る。

その秋田犬好きで、今は夫の前に立つなど、誰の「娘」を翻つて家族でかわいい子としている。

「ハチ、おめでとう！」
年十歳の誕生日。大都市の電気交差点で、秋田犬の里で開かれた祝賀会にて。地元の九十九年の傳では、地元の小学生がハチ公への思いをやめ大切さについて語り、同の観光キャラクター「はち」をモチドリした「ワンふるはくちんダンシ」が競演されたなど、にぎやかな雰囲気で包まれた。

地域、時代超えて人々の心に

は、たゞ
体は年八月
00年事變空
H.A.H.T.I.
エクスを妨駆
まで受け取
物語は、次の
いと意氣へ
向記述すべ
る。

さんが主演したハリウッドの映画「HACHI - A Dog's Story」(ハチ公)で、台湾に行ってきた女性は、「映画を見て、ハチ公を知りました」と教えた。米国からの男性は、主張を持続した犬として、改めて紹介していました。物心ないが、「こうしたおもしろい話、大事に思っているのですね」とほほ笑んでいました。

新年度の新入塾生を募集中です！

皆様のお知り合いで首都圏の大学に合格された方が居りましたら、和散塾をご紹介下さい！

<文責:専務理事・佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <iukuijimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第 24 号



2023 年 2 月 7 日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第 24 号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますのでご了承下さい。

塾友会首都圏支部の総会と賀詞交歓会が開催されました！

和敬塾には 5,000 名を超える OB(塾友)がありますが、北海道から九州、更に韓国(ソウル)までも含め 18 の支部に所属し、活発な活動をしています。

各支部では年次総会や賀詞交歓会等を毎年開催し、中には茶話会と称する勉強会を開催したり、支部の垣根を超えて登山を楽しむ山の会なども開催し、親睦を深めています。

中でも関東の一都三県で構成される首都圏支部は 1,400 人を超える塾友が所蔵する最大組織です。首都圏支部は、コロナ禍のここ数年は対面での集まりを控えておりましたが、先週の 2 月 4 日(土)に総会と賀詞交歓会が和敬塾本館で盛大に開催されました。なお、賀詞交歓会は塾友会本部との合同主催で開催されました。

総会は本館 1 階の御食堂で開催され、新任の支部長・副支部長が就任し、新体制での出発となりました。支部長に福山幸一氏、副支部長に若林弘之氏という、それぞれ昭和 57 年に北寮を卒塾した塾友が就任されました。

賀詞交歓会は本館 3 階の中央広間で開催され、令和に入ってから卒塾した若い塾友や、現役塾生も多数参加し、80 代から 20 代の幅広い世代の塾友・塾生が歓談し、交流を深めました。



会場となった和敬塾本館



1 階の御食堂で開催された首都圏支部総会



続々と塾友が集まる本館1階の賀詞交歓会受付



来賓の挨拶を聞く幅広い年齢層の参加者



若林副支部長 永井塾友会会长 福山支部長



塾生や若手の塾友に囲まれる前川理事長



挨拶する福山支部長



福山支部長の話を聞く参加者



金田一前支部長と
古閑首都圏支部幹事長

最後に、一 OB から寄せられた「参加雑感」をご紹介致します。

「賀詞交歓会・参加雑感」

2月4日午後、塾友として久々に訪れた和敬塾には「新しい景色」が広がっていました。重厚な本館3階の大フロアに集った面々のうち半分近くの世代が断然若手。これまでにない経験です。やがて開会の乾杯の直後、爽やかな笑顔で近づいてきた若手がいました。「自分は就職に向けた準備活動中だが、先輩はどういった分野で仕事をしておられるのか、今の内外情勢に照らすとチャレンジすべき分野はどんなところかアドバイスをもらいたい。」ざつとこんな流れで、気づいたら、こちらも何十年か前の卒塾近い頃の思いと、その後の自らのキャリアを両睨みして熱弁を奮っていました。見回せば、そんな活発なやり取りが、フロアのあちこちで熱気を帯びていました。今度はビュッフェのそばで佇んでいる若手にこちらから話しかけてみました。会話はすぐに打ち解けました。去り際に彼は、「この場への参加には正直迷ったが、参加して良かった。同じ和敬仲間という繋がりだけで、今日初対面の大先輩との間でこんなに親身な会話が出来ると、噂は本当であった。これからも同じような場面には迷わず参加したくなった。」と言い残してくれました。今時のシュッとしたスーツ姿の何人もの現役生諸君が興奮気味に謝辞を述べてくれ、爽やかな気分に浸りつつ目白台を後にしました。近年最高の立春でありました。
<1983年卒塾生>

新年度の新入塾生を募集中です！

皆様のお知り合いで首都圏の大学に合格された方が居りましたら、和敬塾をご紹介下さい！

<文責：専務理事・佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第25号



2023年2月14日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第25号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

塾友がプロデュースした番組がNHK・BSで放送されます！

昨年のメールマガジン第2号でもご紹介した塾友（S51北）で東京藝術大学特任教授の井上隆史氏より、以下のようなメールが入りましたのでご連絡致します。

井上氏の経歴は下記を参照願います。

2017/04 - 東京藝術大学 社会連携センター 特任教授
2006 - NHK 放送センター放送総局エグゼクティブプロデューサー
*2002年～2007年 総合地球環境学研究所客員教授を兼務
---研究テーマ「シルクロードの環境と文明」
2000 - (株)NHK エンタープライズ21 文化番組担当部長
1998 - 同 番組制作局チーフプロデューサー
1993 - 編成局スペシャル番組部チーフプロデューサー
1976 - 早稲田大学第一法学部卒業（和敬塾北寮卒）後、NHK 入局



皆様

私の企画した番組が今月23日の休日午前9時からNHK・BSPで放送されます。

40年近く前になりますが、「大黄河」という番組の取材で入った懐かしい黄土高原が舞台です。

黄土高原の取材は秋と冬、そして次の夏と3回にわたりました。

黄色い大地の貧しい暮らしを見ながら、少年時代の自分を重ねる「既視感」に満ちた取材行でした。

その黄土高原は「麺文化」発祥の地でもあります。讃岐うどんの地に育った私としてはどうしてもその麺の奥深い文化を辿りたいと思っていました。

中国のゼロコロナ政策下のロケで大変でしたが、日中のスタッフが頑張ってくれました。取材予定地が急にロックダウンされてしまったりして、アクシデントの連続でしたが、幸い取材の中心となる中国黄土高原の広がる陝西省榆林地区と山西省太原市はうまく間隙を縫って取材ができました。

撮影が終了し、全員自宅に帰れた途端に突然のゼロコロナ解除、その後1か月の間に北京の暮らしに戻ったスタッフ全員コロナにかかりてしまいました。上海在住の日本人ディレクターは感染もなく、日本に撮影素材を無事持って帰れました。

ともかく何とか完成しました。それなりに面白く、美味しくなっていると思います。

ナレーターはベテランで大のラーメン好きだという高橋克実さんにお願いしました。

好評なら、来年度も西安から蘭州、敦煌まで辿る続編も作りたいと思っています。あわよくば中央アジアから、最後はローマまで「麺ロード」を辿りたいという夢も捨てていません。「麺からシルクロードが見えてくる」「シルクロードは麺ロード」と思っているのですが・・・。

ぜひご覧ください。

井上 隆史



麺のふるさと、黄土高原へ
そこで出会ったのは、驚くべき麺の種類！
麺に秘められた歴史と風土をいただきます！

『百花繚乱！麵道をゆく～中国・黄土高原～』
NHK BS プレミアム
2023年2月23日(木・祝)午前9:00～10:30



語り 高橋克実 出田奈々

麺リポーター 石沢綾子

資料提供 鶴間和幸 佐藤洋一郎
取材協力 裏出令子

取材 佐藤玄一
ディレクター 松田奈月 古橋徹

撮影 魏煜晨 周明 張敬亮
映像技術 岩谷咲

制作統括 中島木祖也 国沢五月
井上隆史

CG制作 細井真木
コーディネーター 李雯潔

制作 NHK エンタープライズ

編集 市川誠
音響効果 井貝信太郎

制作・著作 NHK
地球総研

<アフガニスタン支援のチャリティコンサートとクラウドファンディングの紹介>

上記の井上隆史氏より、アフガニスタン支援のチャリティコンサートとクラウドファンディングの情報が届いていますので、合わせてご紹介します。

私の藝大最後の仕事として、3月12日にアフガニスタン支援コンサートを計画していますが、このコンサートと連動して、アフガニスタンの支援を行っているNPO法人がクラウドファンディングを始めました。アフガニスタンではタリバン政権下で、女性は中等教育以上の学校に行くこともできず民衆の間で愛されているシルクロードのしらべもクラシック音楽も流行の歌も、演奏することも聞くこともできないそうです。このクラウドファンディングはポルトガルに学校ごと亡命している「アフガニスタン国立音楽学校」の生徒たちを応援しようというものです。（井上隆史）

コンサートの紹介サイト : http://chalpasah.starfree.jp/sogakudo_sp.htm

クラウドファンディングのサイト : <https://readyfor.jp/projects/111232>

<文責：佐藤一義（和敬塾専務理事）>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第 26 号



2023 年 2 月 28 日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第 26 号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますのでご了承下さい。

和敬塾の各寮の紹介が YouTube で見られます！ Ver.2

メールマガジン第 23 号でも一部紹介しましたが、寮生に自寮の紹介をしてもらうビデオを作成しました。東寮・西寮・新南寮・北寮より 1 人ずつ 1 年生が出演して自寮について語ってくれました！

youtube ページはこちらです。<https://www.youtube.com/user/wakeijukuthemovie/>

東寮 1 年・青野君



和敬塾 youtube

<https://www.youtube.com/watch?v=J5ZBqYMYgO0>

西寮 1 年・古里君



<https://www.youtube.com/watch?v=HD-54Be3V-4>

新南寮 1 年・大久保君



<https://www.youtube.com/watch?v=HWPmsP8LzSM>

北寮 1 年・市原君



https://www.youtube.com/watch?v=e_zepCH0J4g

なお youtube 以外に、facebook、twitter、instagram でも見ることができます。

<https://www.facebook.com/WakeijukuFoundation/>

https://twitter.com/wakei_library

<https://www.instagram.com/wakeijuku/>

新年度の新入塾生を募集中です！

皆様のお知り合いで首都圏の大学に合格された方が居りましたら、和敬塾をご紹介下さい！

<文責：専務理事・佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第27号



2023年3月8日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第27号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますのでご了承下さい。

BS日テレの番組で和敬塾本館が紹介されます！

BS日テレで毎週火曜の20:00～放送している「ぶらぶら美術・博物館」の3月14日(火)の放送枠で和敬塾本館が紹介されます！



<3月14日の放送概要>

細川家伝来の国宝・重文ずらり！永青文庫「細川の名刀たち」展～超絶技巧の肥後金工と名刀揃い踏み！こだわりの細川侯爵邸も～

今回は和敬塾のお隣の永青文庫で開催中の「細川の名刀たち」展を紹介するのがメインになりますが、上記の「こだわりの細川侯爵邸」として、以下の写真のように、和敬塾本館も紹介されます！詳細は以下をご確認ください！

[細川の名刀が揃い踏み！【ぶらぶら美術・博物館】
永青文庫 3月14日\(火\)よる8時 - YouTube](#)

[ぶらぶら美術・博物館 | BS日テレ \(bs4.jp\)](#)



※写真や放送概要等はBS日テレの許可を得て掲載しています。

(なお、この番組は2023年4月より放送時間が毎週水曜日の22:00～に変更になるとのことです。)

新年度の新入塾生を募集中です！

皆様のお知り合いで首都圏の大学に合格された方が居りましたら、和敬塾をご紹介下さい！

<文責：専務理事・佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第28号



2023年3月15日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第28号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますのでご了承下さい。

初公開！ 和敬塾の食事(夕食)を紹介します！

和敬塾は塾生に朝夕の食事を提供することを特徴としており、メニューは家庭料理を基本に、食堂スタッフ(塾職員)が丹精を込めて調理しています！また、季節料理を出す工夫もしており、今回は「3月3日のひな祭り」にちなんだ「ちらし寿司&桜餅 etc.」から1週間分を紹介します。

3/3(金)



3/3(金)	ちらし寿司 茶碗蒸し 清まし汁 桜餅		
エネルギー - (kcal)	936	蛋白質	38.0
脂質	13.4	食塩	4.2

3/4(土)



3/4(土)	チキンカレーライス コールスロー シューアイス		
エネルギー - (kcal)	1050	蛋白質	40.5
脂質	27.2	食塩	2.8

3/5(日)



3/5(日)	ご飯 串カツ アスパラとペンネの クリーム煮 ひじきのマリネ 清まし汁		
エネルギー - (kcal)	1034	蛋白質	34.1
脂質	20.2	食塩	3.0

3/6(月)



3/6(月)	ご飯 タンドリーチキン カリフラワーのトマト煮 マカロニのシーザーサラダ コンソメスープ		
エネルギー - (kcal)	1068	蛋白質	40.8
脂質	33.1	食塩	2.7

3/7(火)



3/7(火)	ご飯 豚の山椒炒め 南瓜の煮物 ほうれん草とイカの和え物 味噌汁(赤味噌)		
エネルギー - (kcal)	1039	蛋白質	42.9
脂質	25.6	食塩	2.7

3/8(水)



3/8(水)	ご飯 焼き餃子 高野豆腐の豆板醤炒め ササミと小松菜の煮浸し わかめスープ		
エネルギー - (kcal)	1038	蛋白質	34.7
脂質	26.4	食塩	3.2

3/9(木)



3/9(木)	ご飯 鶏肉のみぞれ煮 海老と蒟蒻のピリ辛味 切干大根のあちゃら 味噌汁(赤味噌)		
エネルギー - (kcal)	1085	蛋白質	42.1
脂質	31.9	食塩	3.0

【特別企画】

今週の朝昼夕・3食のメニューと今日の昼食、食堂の雰囲気をお伝えします！

予定献立表

2023年3月12日（日）～3月18日（土）

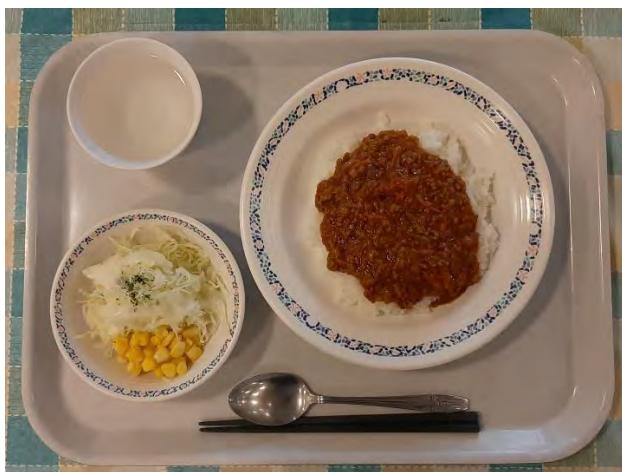
	12日（日）	13日（月）	14日（火）	15日（水）	16日（木）	17日（金）	18日（土）
朝	御飯 納豆 さつま揚げの甘辛煮 味噌汁～合わせ味噌～	パン ボトフ フルーツミックス 牛乳	御飯 生卵 ちゃんぽん風炒め 味噌汁～赤味噌～	パン さっくりメンチカツ 野菜サラダ ヨーグルト 牛乳	御飯 納豆 信田煮 いんげんの胡麻和え 味噌汁～合わせ味噌～	パン 南瓜とベーコンのチーズ焼き 野菜サラダ バナナ 牛乳	御飯 生卵 豆腐のそぼろあん 味噌汁～合わせ味噌～
	親子丼 味噌汁～赤味噌～	鶏白湯ラーメン 御飯	御飯 鶏の唐揚げ 豚汁	ドライカレー 野菜サラダ	桜海老と枝豆のかき揚げそば お稲荷さん	御飯 ポークケチャップ ポテトサラダ 味噌汁～白味噌～	ほうとう風うどん 菜御飯
	鶏の五目中華丼 サンラータン ごま団子	御飯 チキンソテー 大学芋 プロッコリーサラダ 味噌汁～白味噌～	御飯 豚キムチ 高野豆腐の卵とじ ナムル 味噌汁～白味噌～	御飯 鶏のチリソースかけ 海老と青梗菜の炒め物 大根サラダ 中華スープ	御飯 豚肉の大和煮 五色野菜炒め くらげの酢の物 味噌汁～合わせ味噌～	御飯 鰯の西京焼き 肉じゃが 胡瓜とカニのマヨ和え かき玉汁	御飯 豚肉のホイル焼き 五目豆 キャベツのお浸し 味噌汁～合わせ味噌～
※メニューは変更する場合があります。							

公益財団法人 和敬塾

※毎週のメニューは和敬塾ホームページの「塾生の皆さんへ」で確認できます。

<今日の昼食と食堂の様子>

今日の昼食はドライカレー（キーマカレー）と野菜サラダでした。（昼食は食券を購入いただきます。）
今日の食堂は春休み期間中であり、人気メニューでもあって、塾生が多く来っていました。



新年度の新入塾生を募集中です！

皆様のお知り合いで首都圏の大学に合格された方が居りましたら、和敬塾をご紹介下さい！

＜文責：専務理事・佐藤一義＞

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人和敬塾事務局

<juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第 29号



2023 年4月3日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第 29 号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますのでご了承下さい。

新入塾生を対象に入塾オリエンテーションが開催されました！

いよいよ、春本番！令和5年度の新入塾生が入ってきました。今年の入塾式は 4 月 9 日(日)に予定していますが、それに先立ち 3 月 31 日(金)に入塾オリエンテーションが大講堂で開催されました。今年のオリエンテーションは 3 部に分かれ、主なプログラムは以下の通りでした。

<第1部:約80 分>

- ① 塾長挨拶(前川正雄塾長)
- ② 歓迎挨拶および和敬塾の紹介(佐藤専務理事)
- ③ 年間スケジュールと行事・教養講座の紹介(徳久西寮寮長)
- ④ 和敬の精神と塾歌について(佐々木理事)
- ⑤ 職員紹介(食堂G→東寮→西寮→新南寮→北寮→施設管理G→塾事務所)

<第 2 部:約 60 分>

消費者トラブル被害防止研修会

文京区消費生活センター主催:「契約トラブルにあわないために」

<第 3 部:約 30 分>

和敬塾本館見学(案内役:塾事務所・丸山)

第 1 部では和敬塾の歴史や共同生活の基本精神を学ぶと共に、職員の紹介等がありました。

最初に挨拶に立った前川塾長からは、和敬塾設立の意義を踏まえ、30 年後の社会や自分を考えるなど、自分を見つめながら「考えることの重要性」を強調。また、「他人を知り、己を知り、社会を知る」という和敬塾の基本的な考え方などについて約 30 分に渡り話がありました。最後に質問を受けると、すかさず手が上がり、「心を鍛えるという話がありましたが、どのようにして鍛えるのですか?」といった質問があり、早くも和敬塾生の面目躍如の場面がありました。

佐藤専務理事からは和敬塾の歴史や混沌とした時代の中で環境適応力を持った人材の育成などに取組む和敬塾の活動についての紹介がありました。

その後は、塾の行事や教養講座の紹介、塾歌の練習、職員紹介等がありました。

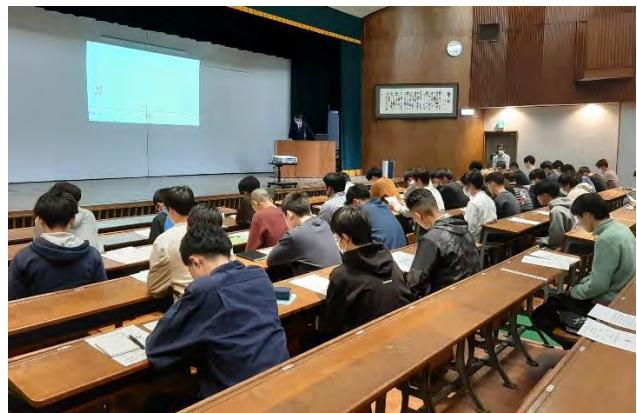
第 2 部では上京したばかりの大学生や若手社会人を狙ったマルチ商法などの詐欺行為が多く発生しているため、文京区消費生活センターから派遣された消費生活相談員の方から具体例を紹介しながら、その防止策についての研修会があり、新入塾生も興味深く聞いていました。

第 3 部では和敬塾本館(旧細川侯爵邸)の見学会を行いました。この和敬塾本館は収益事業ができる文化財として活用されており、多くの映画(例:コンフィデンスマント、劇場版 HERO)やテレビドラマ(例:日曜劇場・危険なビーナス、日本沈没)の撮影に使われています。また、塾生対象のマナー講習等でも利用していますが、普段は中々入る機会がないので、新入塾生も興味津々で説明を聞いていました。

<第1部>



前川正雄塾長の挨拶



塾歌の練習風景

<職員紹介>



食堂 G スタッフ



施設管理 G スタッフ



事務所 G スタッフ



東寮スタッフ



西寮スタッフ



新南寮スタッフ



北寮スタッフ

<第2部:消費者トラブル被害防止研修会>



消費生活相談員による講習



講習を熱心に聞く新入塾生

<文責:専務理事・佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第30号



2023年4月10日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第30号をお送り致します。
今回は3頁建の特別編集です！なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

令和5年度入塾式が盛大に開催されました！



数年ぶりに保護者も多数参加した入塾式



塾友の石山卓磨先生による記念講演

4月9日(日)、令和5年度の和敬塾入塾式が学生ホール・大講堂で開催されました。本年度の新入塾生は日本人53名、留学生37名で、今回は久しぶりに保護者の方にも参加戴きました。

入塾式の式典内容は以下の通りです。

<大講堂における式典内容>

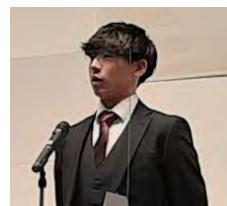
- | | |
|------------|-------------------------|
| ① 理事長歓迎挨拶 | 前川 正 理事長 |
| ② 来賓挨拶 | 永井達也 塾友会長 |
| ③ 塾生代表挨拶 | 全塾委員長 東寮3年 石黒君 |
| ④ 新入塾生代表挨拶 | 北寮1年 手嶋君 |
| ⑤ 記念講演 | 大原大学院大学教授(塾友)
石山卓磨先生 |



前川 正 理事長



永井 塾友会長



石黒君



手嶋君

最初に挨拶に立った前川理事長からは「和敬塾での出会いを大切にし、人と折り合う能力を培い、一生涯の友人を作りたい。」との歓迎の話がありました。

5,000名を超えるOBの集まりである塾友会の永井会長からは新入塾生の成長を期待する挨拶の後、就職を始め様々な塾生支援を行う塾友会の説明がありました。

全塾委員長の石黒君(東寮3年)からは自らの新入塾生時代の体験を基にした新入塾生を歓迎する挨拶があり、北寮1年の手嶋

君からは期待と少々の不安を抱えながらも様々なことにチャレンジしていくという初々しい挨拶がありました。

和敬塾の式典では様々な分野で活躍されている識者による記念講演が恒例となっていますが、今回は塾友で大原大学院大学学長の石山卓磨先生にお願い致しました。

石山先生からは早稲田大学法学部の学部生時代から大学院博士課程満期退学までの9年間和敬塾に在籍された経験を踏まえ、「和敬塾とはなにか」というテーマで約1時間に渡るご講演を戴きました。

講演の中で在塾時代の様々なエピソードを紹介戴きましたが、入塾当初に見た講演者の色紙に圧倒された思いや、和敬塾が大事にしている講演会では、塾生時代に聞いた段階ではよく理解できなかった内容も社会に出て改めて読み返してみると、和と敬に通じる深い話だったという話がありましたが、これは多くの塾友が感じている話ではないかと思いました。

また、自らの寮生活における先輩寮生との関わりの体験を踏まえ、「和と敬」の精神の上に、「勇気を持って自己主張する必要もある」との話が印象的でした。

石山先生の在塾時代(昭和45年~50年)は前川喜作塾長も毎日塾に居られ、直接接する機会も多くあったようで、身体の小ささに比してそのスケールの大きさに圧倒された思いと、塾生を一人前の人間に育てるために、甘い考えを持つ塾生に対しては叱責する場面も多かったという話も紹介されました。

この時代は学生紛争の時代もあり、塾内でもその影響を受けた塾生から塾費や塾運営に関する抗議等もあったようで、その際は全塾生を大講堂に集め、塾長自らが塾運営に関する熱い思いや塾生に期待する烈々たる話をされ事態収拾に当たった旨の話があり、和敬塾の長い歴史の中で様々な出来事があったことを知ることができました。

後半では、書道、詩吟、英会話、空手などの教養講座をフル活用したことや、山手線一周ハイクを始めるなど充実した塾生活の一端を紹介戴くと共に、大学院時代の研究生活についても紹介がありました。

また、最強の軍人を作る上で一番大事なのは「朝一番にベッドメーキングをすることだ」という逸話の紹介を通し、整理整頓の重要性について新入塾生に示唆に富む話を戴きました。

最後に恒例の質疑応答となり、2人の新入塾生が質問に立ち、70分に渡る講演会が終了しました。

その後は、眩しいばかりの快晴のもと、本館中庭で記念撮影があり午前のプログラムが終了しました。

午後は、40名以上の保護者の方々を対象にした本館見学会と、前川理事長を囲んでの保護者懇談会が開催されました。

この保護者懇談会は昭和40年代から50年代にかけて入塾式後に開催された記録が残っていますが、久しぶりに開催されたもので、今後は定例化していきたいと考えています。



和敬塾の思い出を熱く語る石山先生



記念撮影:東寮



記念撮影:西寮



記念撮影:新南寮



記念撮影:北寮

【特別企画 第2弾】

入塾式当日の朝昼夕・3食のメニューを紹介します。

コロナ禍前までは入塾式等の式典の際、昼食は和敬塾本館の中庭でガーデンパーティ(立食パーティ)を開催していたのですが、ここ数年は保護者の皆様の参加も無かったため、パーティーは開催せず、その代替案として、塾生の朝夕の食事を「特別メニュー」として、ちょっとリッチな内容のメニューを提供してきました。今回もパーティーはできませんでしたので、朝夕は「特別メニュー」とし、昼食は通常メニューの和敬カレーとなっています。今回は保護者の皆様にも昼食時に和敬カレーを食べて戴きました。

<朝食:特別メニュー>



<昼食:和敬カレー&サラダ>



<夕食:特別メニュー>



昼の残りのカレーではありません！(笑)



<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第31号



2023年4月20日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第31号をお送り致します。

今回は塾祭の告知版です！ なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

5/14 の塾祭で前京大総長の山極壽一氏が講演されます！

来る5月14日(日)に開催予定の第68回和敬塾創立記念塾祭において、前京都大学総長の山極壽一先生が記念講演されることになりました。

山極先生は靈長類学者としてゴリラ研究の第一人者であり、ゴリラの生態から人類の起源を探究し、靈長類学の観点から現代社会の問題も論じるなどユニークな研究者として有名で、2014年から2020年まで第26代京都大学総長を勤められ、現在は京都市にある総合地球環境学研究所の所長を勤められています。

講演の演題は「人間の共同性はどう進化してきたか」で、「共同生活を通した人間形成」をモットーとする和敬塾にとって、大変興味あるテーマとなっています。

また、最近の塾祭では恒例になっている各寮代表の留学生による挨拶も行われます。昨年は香港、ロシア、中国(2人)出身の4人が登壇しましたが、昨秋、今春と多くの留学生が入塾し、現在は22ヶ国・90名を超える留学生が在籍しており、どこの国の留学生が挨拶するのかもご期待下さい。(詳細は次号で紹介予定)

塾祭の主な式典内容は以下の通りです。

式典開催時間:10時~12時	会場:学生ホール大講堂
理事長挨拶(10:10~)	: 前川 正 理事長
塾友会長挨拶	: 永井達也 会長
塾生代表挨拶	: 石黒航輔 全塾委員長
留学生代表挨拶	: 4寮留学生代表
記念講演(10:50~11:50)	: 山極壽一 先生

やまぎわ じゅいち
山極 壽一 先生のプロフィール(一部)



1952年東京都生まれ。京都大学理学部卒、同大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学。理学博士。

京都大学靈長類研究所助手、京都大学大学院理学研究科助教授、同教授、同研究科長・理学部長を経て、2020年まで第26代京都大学総長。日本靈長類学会会長、国際靈長類学会会長、日本学術會議会長、総合科学技術・イノベーション会議議員を歴任。

現在、総合地球環境学研究所 所長、京都市動物園名誉園長、2025年国際博覧会シニアアドバイザーを務める。著書に『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』(2020年、家の光協会)他多数。

なお、塾祭に参加を希望される方は、配席の準備の為、下記の和敬塾事務局のメールアドレスに「お名前・塾との関係性(例えば塾生保護者や塾友)・連絡先(電話番号とメールアドレス)」を5月8日(月)までにご連絡戴くよう、お願い申し上げます。

<juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



昨年の塾祭の留学生代表挨拶の一場面

また、コロナ禍前の塾祭では式典終了後に寮対抗の3年生劇を開催しておりましたが、今年は準備の関係上、6月下旬に開催する予定にしております。開催日が決まり次第、このメールマガジンでご連絡申しあげます。

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第32号



2023年5月16日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第32号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

第68回創立記念塾祭が盛大に開催されました。



5月14日(日)、第68回和敬塾創立記念塾祭が大講堂で盛大に開催されました。式典は、①理事長挨拶、②塾友会会长挨拶、③塾生代表挨拶、④留学生代表挨拶、⑤記念講演の順で行われました。

まず、前川正理事長からは、入塾して約1ヶ月が経過した新入塾生に対するねぎらいの言葉の後、外部の方と話していると和敬塾と聞いて学習塾と勘違いする人が多いことを紹介。和敬塾の様々な情報を発信し、理解者を増やしていきたいとの話がありました。

次に登壇した塾友会の永井達也会長からは、コロナ禍でしばらく中止していた和敬塾の伝統行事である3年生劇と騎馬戦が復活すると聞いて「喜びに堪えない」との話がありました。また伝統という観点から、コリー新聞(塾友会新聞)に掲載されている和敬今昔物語の紹介がありました。

(事務局より:従来、3年生劇は塾祭当日に開催していましたが、今年は6月下旬に開催予定です。)

全塾委員長の石黒君(東寮3年)の挨拶では、「同じ釜の飯を食う」ことの素晴しさを紹介すると共に、後輩塾生に対し「たくさんの同じ時間を共有してほしい」との話がありました。

次のプログラムは塾祭ならでは企画として、4寮の留学生代表に和敬塾での共同生活の体験談を話してもらいました。

最初に登壇したのは東寮のエーリック・スィートネン君(フィンランド出身)で、大和魂について話があり、フィンランドでも「SISU」という大和魂と似た考え方がある旨を紹介後、教養講座の居合道の稽古に参加する中や和敬塾の日常生活の中で大和魂を感じることができるとの話がありました。

次に立った西寮のレオ・ベルジオ君(フランス出身)は昨秋の入塾当時の思い出を披露。「2022年9月、和敬塾の門をくぐると雨と蚊が私を迎えてくれた。」という文学的な口調で話が始まり、教養講座の空手の稽古を始めとする和敬塾の日本文化に触れる機会を通し、「他人を知り自分も知ることができた」と和敬塾に対する感謝の気持ちを伝え挨拶を終えました。



登壇した 4 寮代表の留学生

今年の 3 月に入塾したばかりの新南寮代表のホスエ・オリベラ君(ペルー出身)は和敬塾が最も日本的なことに触れることができる場であるとして、教養講座の居合道の稽古に参加した話を紹介。先週は 30 名以上の寮生が参加し寮のラウンジでペルー料理を振舞う会を開催し大いに盛り上がった話が紹介されました。

留学生の最後は北寮のヨウ・エキエン(姚奕遠)君(中国出身)。彼は自分の故郷・蘇州を「”テレビも無エー、何にも無エー“が日本の”蘇州夜曲”にあるように自然が豊かな所」と紹介。日本に来て 8 ヶ月、最初は言語の壁で恥ずかしさと戸惑いがあったが、すぐに慣れることができたと述懐。国際交流において多くの壁があると思うが、異文化の壁を乗り超え、互いの共通点を見出して行くことが重要になるとの話がありました。



東寮：エーリック・スィートネン君 西寮：レオ・ベルジオ君 新南寮：ホスエ・オリベラ君 北寮：ヨウ・エキエン君

佐々木良夫理事の講師紹介の後、登壇した山極壽一・総合地球環境学研究所長(前・京都大学総長)からは、「人間の共同性はどう進化してきたか」というテーマでご講演を戴きました。(山極先生のプロフィールは前号で紹介しましたので、割愛させて戴きます。)



冒頭、自己紹介から始まり、1970 年に東京都立國立高校から京都大学に進学し、当時の思い出として、大阪万博や三島由紀夫の割腹自殺に触れ、「人間とは何か、社会とは何か、未来はあるのか」との葛藤の中で、京都大学の今西錦司氏に師事し、ゴリラを中心とする霊長類研究の道に入ったことが紹介されました。

約 70 分に渡る講演の中で、このゴリラの生態研究から得た様々な興味深い知見を紹介戴きました。中でも興味深かったのは、ゴリラやチンパンジーは顔を近づけて対面の挨拶をする習性があり、特にゴリラは顔を10cm位まで近づけますが、白目のあるのは人間だけで、目の動きから相手の気持ちを読み取ることができるのは人間だけとの話でした。

また、大きな集団で暮らすほど脳が大きくなる傾向にある調査結果も紹介されました。

講演の後半部分では「新たな社交が必要」との話の中で、コロナ禍を経験した我々がこれまでの生活様式を変える必要性に言及。教育に関しては「共感力を使った学びの場」として行く必要があり、今後活躍が期待されるグローバル人材には直観力と状況を即断して適応する力が求められるとの話がありました。

ゴリラの研究から学んだことのまとめとして、「挫折はチャレンジのチャンス」、「トラブルのある所こそ自分の力を発揮できる」、「自分と合わない人とタッグを組む」などが紹介されましたが、これらは共同生活を通じた人間形成をモットーとする和敬塾の塾生には大変参考になる話だったと思います。



様々なスライドを通して、塾生へ熱いメッセージを戴きました。

講演終了後、質疑応答に移り、二人の塾生から質問がありましたが、「脳は更に大きくなるのか?」との質問に対し、「現代の人間の脳はスマフォやChat GPT 等の多用とともに委縮しつつある」という話があり、次代を支える塾生への警告メッセージとなりました。

その後、前川塾長から講演に対する御礼の挨拶があり、最後は久しぶりに参加者全員で塾歌を齊唱し、式典を終了しました。

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第33号



2023年6月1日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第33号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

恒例の山ノ手一周ハイキングが開催されました！

5/27(土)夜～28(日)早朝にかけて、塾生委員会主催の山ノ手一周ハイキングが開催されました。ここ最近の週末は雨の日が多く、天気が心配されましたが、この日は月も煌々と輝く絶好の天気に恵まれ、気温も20°C前後と絶好のハイキング(?)日和となりました。

和敬塾の山ノ手一周ハイキングの歴史を振り返ってみると、昭和47(1972)年6月18日に塾生有志65名が参加した「山手一周徒歩訓練」の記録があります。この時は前川喜作塾長も参加されたとのこと。その翌年の昭和48年6月9日に「山手線一周ハイキング」が開催され、その時は塾生が140名参加した記録が残っています。以降、毎年6月初旬に開催され、参加者も200名前後で、多い時には280名という記録も残っています。

開催時間は夜の9時頃出発し、渋谷ー五反田ー日比谷ー上野(不忍池)のコースで翌朝7時前後の帰塾というのが通例だったようです。

<今回のコース>



出発前の東寮生



出発前の西寮生



出発前の新南寮生



出発前の北寮生

このように以前は全寮が一緒にスタートしていたのですが、10年前から寮ごとに分散して出発することになり、今回も東寮が19時に出発し、以降、西寮・新南寮・北寮の順で30分間隔で出発。北寮の塾出発は21時となりました。

この山ノ手一周ハイキングを行う上で、不可欠な手続きがあります。それはこの上記のコースを団体で歩くことを事前に所轄の警察署で許可(道路使用許可)をもらうことです。何とその所轄署は13にも及ぶとのこと。各寮が手分けをして、各警察署を廻り許可を得たとのこと。これも社会勉強です！

さあ、いよいよ19時、東寮の面々が寮を出て、正門に向かう途中、創立者の銅像前で円陣を組み、準備体操とシュプレヒコールで気合を入れ、正門から目白駅方面に向かい、いよいよスタート！

今年は昨秋と今春に多くの留学生が入塾しましたので、各寮とも留学生が多数参加。初めて参加する1年生はもちろんのこと、同じ寮に居ても中々交流できない寮生とも思い思いの会話が弾み、都会の夜の散歩を楽しみました。

この日は久しぶりに天気の良い週末となったこともあり、多くの人が街に繰り出していました。新宿の花園神社では例大祭が開催されており、屋台が並ぶ境内に多くの人が集まっていました。また、多くの繁華街で酒に酔った若者を見かけました。

人命救助に一役

そんな中、**思いもかけないエピソードが！**渋谷駅近くを歩いていた西寮生が道路に倒れていたご老人を発見。塾での防災訓練の成果を遺憾なく発揮し、3年生の寮生が第一救助に当たると共に、警察や救急隊が来るまで寮生全員で周辺の交通整理に当たり、人命救助に活躍したこと。お疲れ様でした！

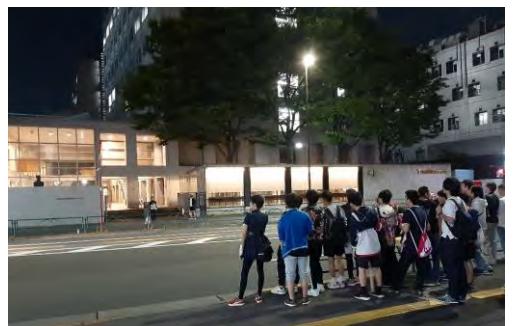
それぞれの寮生は多くの思い出を残し、翌朝の7時半頃から9時頃にかけて無事帰寮しました。



円陣を組んでいよいよスタート！



都内唯一の路面電車・都電荒川線を横に！



早大・西早稲田キャンパス前で自己紹介



例大祭で賑わう花園神社



花園神社前の西寮生



新宿・靖国＆明治通り交差点の新南寮生



日清食品 HD 本社前の北寮生

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第34号



2023年6月3日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第34号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

台風2号の影響下の中、防災訓練が行われました！

6/3(土)午前、防災訓練が行われました。

数日前に発生した大型の台風2号の影響で、2日から3日朝にかけて西日本と東日本の太平洋側では「線状降水帯」が相次いで発生するなど記録的な大雨となりましたが、この日の朝には小雨となり、予定通り訓練が行われました。

しかし、多少雨が残っていた為、当初予定していた消火器や起震車、煙ハウスの体験訓練は中止となり、心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の体験訓練を西地下ホールと新南地下ホールの2会場に分かれて実施しました。

朝9時半に地震が発生したとの想定のもと、各寮から寮生・職員が傘を差しながら西寮前の広場に。約10分後には約90名が集合。その後、2会場に分かれ、心肺蘇生法とAEDの訓練に入りました。今回の訓練はその2つのみとなった為、3人毎に分かれて全員が訓練に参加。皆、消防署員の指導に耳を傾け、真剣に取り組んでいました。

留学生が多いことに消防署(小石川消防署老松出張所)の方も一瞬驚き、「英語での説明も必要ですか?」との問い合わせ。「日本語で大丈夫ですよ」と答えると安心された様子でした。

最後の講評で、専務理事から先日の山ノ手一周ハイキングで西寮メンバーが人命救助に一役買った話を通し、この防災訓練や日頃の寮生活の成果が發揮された旨の話を紹介し、訓練を終了しました。



消防車に乗って消防署員が塾内に！



避難訓練で西寮前広場に全員集合！



心肺蘇生法とAEDの訓練@新南地下ホール



心肺蘇生法とAEDの訓練@西地下ホール



留学生も真剣に訓練に参加



最後の講評を聞く寮生

<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第35号



2023年6月7日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第35号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

地域の方々に和敬塾本館中庭が利用されています！

6/4(日)、前日までは台風2号の影響もあって雨模様の日が続いていましたが、この日は台風一過の晴天となり、本館中庭では地域の有志が主催するフリーマーケット・「森の広場のマルシェ」が開催され、地域のご家族約800名が来場されました。



地域のご家族がたくさん来場した本館中庭

この森の広場のマルシェは「文京区チャレンジショップ地域貢献事業」を活用して開催されたもので、昨年秋に第1回が開催され、今回が2回目の開催となります。

家庭で不要になった衣類や日用品等を格安で販売する「フリーマーケット」や、成長と共に着られなくなった子供服などを必要とする家庭に橋渡しする「おさがりマルシェ」などの他、ミニコンサートも開催され、緑豊かな本館中庭で、多くの皆さんが思う存分休日を楽しんでおられました。



正門で歩行者に開催を呼び掛ける寮生



おさがりマルシェ



緑豊かな道を抜けると本館中庭に多くの家族連れが！



駐輪上にはたくさんのアシスト自転車が！

かき氷の出店も大忙し！

アンケートご協力に感謝！



合唱団やミニオーケストラが熱唱・熱演したミニコンサート

地域のビーバースカウト(ボーイスカウト・ビーバー隊)も本館中庭を利用されました！

少し前のことになりますが、5/14(日)に文京区を中心に活動しているボーイスカウト団体の年少部門(ビーバー隊)の「グリーンカーテンづくり集会」の開会式と閉会式が本館中庭で行われました。

和敬塾本館は映画やTVドラマやCM撮影の他、土日祝日は結婚披露宴にご利用戴くなど、様々な用途で活用戴いていますが、こうした地域の皆様に和敬塾の施設をご利用戴くよう、努力して参ります！



<文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第40号



2023年7月31日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第40号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

白陵高校(兵庫県)の1年生が体験宿泊研修を行いました！

兵庫県高砂市の白陵高校では「キャリア研修」と称して、夏休みに1年生が社会見学を兼ね、いくつかのグループに分かれ、都内の博物館・美術館や国会議事堂の他、同校の先輩が勤務する霞が関の中央官庁や東大地震研究所等の見学研修会を実施するのが恒例となっていましたが、ここ数年は新型コロナの影響で中断していました。

久しぶりの再開となった今年は、同校の卒業生も在籍する和敬塾の見学と塾生との懇談会、体験宿泊が新たなコースに加わりました。

同校の宮崎陽太郎校長は同校のホームページの中で「他者を敬い、真理を敬う」ことの重要性を訴えておられます。これは正に和敬塾の精神と一致するもの。今回の体験宿泊研修のほぼ1月前に来塾された宮崎校長は「緑の多い素晴らしい環境で、様々な大学の学生が共同生活をしているのも魅力です。自分も白陵時代に寮生活を体験しましたが、是非、我が校の生徒にもこうした寮生活で切磋琢磨する学生の皆さんに触れて何かを感じてもらえると有難いです」と話されていました。



白陵高校の卒業生(山田君)が在籍する東寮を見学

7月26日(木)17時に集合した15名の生徒さんたちはまず本館中庭を見学した後、東寮と新南寮を見学。その後学生ホールの大講堂や講演者の色紙を見学し、研修センターで和敬塾の概要説明を受けた後、夕食会場となる食堂へ。在塾生と同じように、一列に並んで食事を受け取り、テーブルへ。日中の猛暑の中での見学の疲れを癒すように、**山盛りのご飯を食べる生徒さんやお代わりをする生徒さんも。**

その後、いよいよ本日のメインイベント、塾生との懇談会場へ。今回、懇談会に参加した塾生は白陵高校OBの山田君(東寮:中央大学・法学部1年)の他、安田君(北寮:立教大学・文学部1年)、辻本君(新南寮:早稲田大学・政経学部4年)の3人。まず塾生3人の自己紹介の後、15人の生徒さんも部活動の所

属を含めた自己紹介。最後は付き添いの山本先生が「英語担当の山本です！」との挨拶に一同大笑い。和やかな内に懇談会がスタートしました。

懇談会は1グループ5人ずつに分かれ、それぞれ1人の塾生が担当し、生徒さんの質問に答える形で始まりました。

受験や進路の考え方、大学生活などについて、塾生自身もまだまだ悩むところも多いようですが、自分自身の言葉で率直に対話をしていました。いろいろな人と話してもらいたいということで、途中でグループを2回ほど替わってもらい、3人の塾生とまんべんなく話してもらえるようにしました。

とくに和敬塾での寮生活については面白おかしく話していました。あちこちで笑い声が起きました。

引率の山本先生に伺いましたところ、「**高校生と大学生ということで世代が近く、同じ目線で話し合えたのが良かったのではないか**」とのことでした。

およそ2時間程度でしたが、人数が少なかったこともあり、互いにじっくり話し始めたようで、生徒さんにとっても塾生にとっても有意義な懇談会となったのではないでしょうか。

是非、来年もお待ちしております！



本館中庭の見学



新南寮の見学



大講堂の見学



講演者の色紙の見学



研修センターでの塾の概要説明



列になって食事を受け取ります！



メニューは鶏の照り焼きやトマトのマリネなど、ご飯は食べ放題！



自己紹介する白陵OBの山田君



和やかな塾生と生徒さんの懇談会が始まりました <文責:佐藤一義(和敬塾専務理事)>

